



えいなん



5・6年がん教育出前授業

11月8日(火)



11月8日(火)に海南病院の看護師の加藤有香さんを講師に迎え「がん教育」の出前授業を行いました。「がん」は今の日本人の二人に一人が罹る病気になっています。「がん」とはどんな病気なのか、「がん」にならないためにはどうすればいいかなどを分かりやすく教えていただきました。また、検診を受け早期であれば9割の人が治ることから、がん検診を受けるように話してほしいことを最後に言ってみえたことが印象的でした。

保護者の方ががんに罹った時に、子どもが「自分がいい子じゃなかったから罹っちゃったんだ」と自分を追い詰める子もいるそうです。そういうことを表に出せず苦しむ子もいるということも併せてうかがいました。子どもへのサポートも必要なのだと考えさせられた授業でした。



4年生鍋田南部排水機場見学 11月10日(木)

海部地域の排水についての説明では、海部地域は海拔0mであり、海より低い土地ということが分かりました。なぜ海より低いかというと、昔この地域は海で、埋め立てによって土地になったからということをお話いただきました。また、排水機場の機械のスイッチを入れポンプを作動させると、その音の大きさに児童は驚いていました。海より低い土地に雨がたくさん降ってもポンプの働きによって水が海に流れていく様子を実験模型で教えていただきました。ポンプ排水の見学では、風船を投げて川に落とし、風船の様子から水の流れが分かり、川に落ちているものを機械で拾い上げ、ゴミ置き場に運ばれていく様子を見させていただきました。機場のり面へのペイントでは、グループごとにクレパスを使って絵を描きました。

